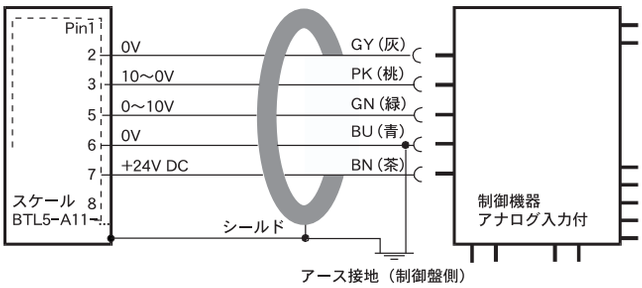
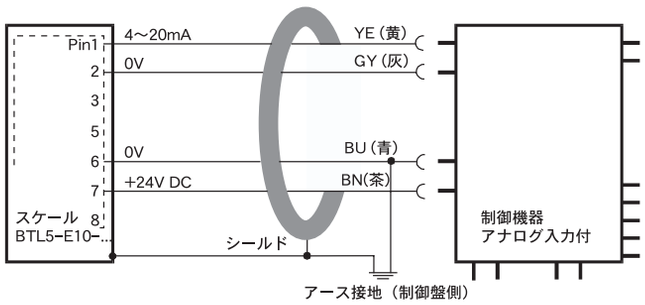
配線例

アナログインターフェース

■ 電圧出力

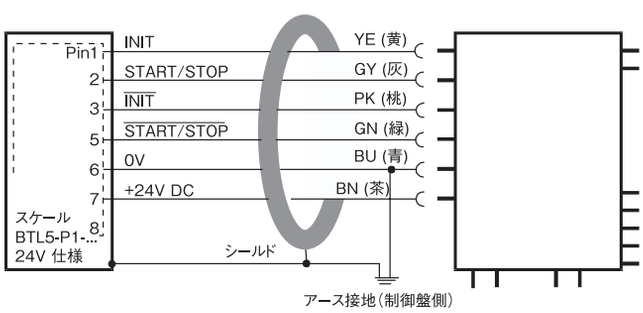


■ 電流出力



＜注意＞
●プロファイル形状のアナログインターフェーススケールは、ポテンシャルフリーです。 接続する制御機器の入力ラインがポテンシャルフリーでない場合は、[Pin2/ 灰] と [Pi n 6/ 青] をジャンパーし、スケール側のポテンシャルフリーを無効にして下さい。
●ケーブル長は、最大 20m までとして下さい。

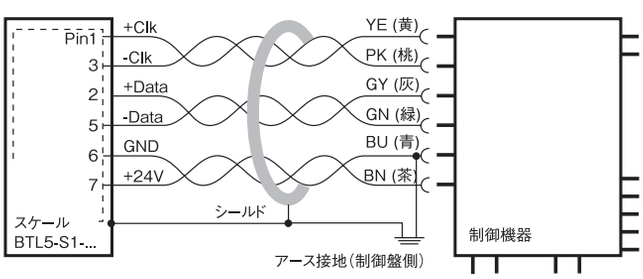
パルスインターフェース



プロセッサ側の配線については、各製品の取扱説明書をご参照下さい。

＜注意＞
●ケーブル長は、最大 500m までとして下さい。

SSI インターフェース



＜注意＞
●ケーブル長は、最大 400m までとして下さい。

配線上の注意

●スケールの配線ケーブルは、ノイズによる誤動作を防止するため、動力線等大電流を流すケーブルと結束したり、それらのケーブルに近接して配線しないでください。
●「GND (0V)：Pin 6 / 青」は、制御盤側でアース接地してください。
●プロファイル形状のスケール本体を設置する際、取り付けクランプに「絶縁ブッシュ」を付けて固定することをお勧めします。（制御盤側と機械装置側のグランド電位が同じでない場合に発生する電流が、シールド線に流れるのを防止するためです。）
● 詳細は取扱説明書をご参照の上、正しく配線してください。

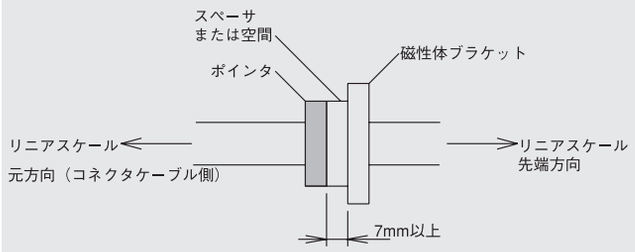
取付

ポインタ

機械／装置のブラケットにポインタを取り付ける際には、以下の点に注意してください。

- ブラケットの材料は非磁性体 (アルミ 、ステンレス 、真鍮等) をご使用ください。
  又、ポインタの固定には、非磁性体の固定ネジをご使用ください。
- 磁性体のブラケットを使用する場合は、右図のように、非磁性体のスペーサーを挿入するか、または、空間を設けた上で、ポインタをブラケットに固定してください。
- ポインタの周囲に磁性体を配置する場合には、必ず、ポインタと磁性体との間隔が 7mm 以上離れるように、設計してください。

＜磁性体ブラケットを使用する場合＞

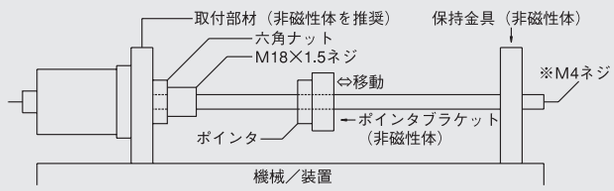


ロッド形状・コンパクトロッド形状スケール

機械／装置に「ロッド形状スケール」を設置する際には、以下の点に注意してください。

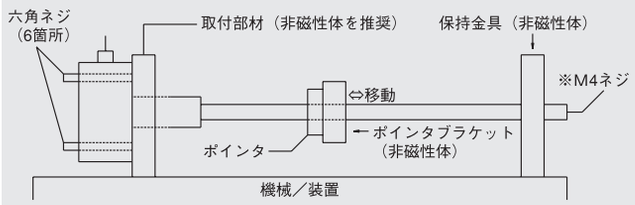
- スケールの取付面と機械／装置側の取付面は、完全に密着するように設置してください。
- 機械／装置側の取付部材は、磁化による誤動作を避けるために、非磁性体（アルミ、ステンレス、真鍮等）の使用をお奨めします。
- 測定ストローク 500mm 以上のスケールを水平方向で使用する場合、非磁性体の保持金具で、ロッドの先端部分又は中間部分を支えてください。
- ロッド先端のネジ穴 (M4) は、フロートタイプのポインタのはずれ防止用に使用するものです。
  このネジを使用してスケールを保持することは避けてください。
- 油圧シリンダに埋め込み、使用する場合の設置方法については、「取扱説明書」を参照してください。

＜ロッド形状＞



付属の六角ナット又は相当する適当なナットで固定してください。
（締め付けトルク＜ 100Nm）

＜コンパクトロッド形状＞



ケース部前面の取付穴（6 カ所）から六角ネジ（M6x40-A2）で固定してください。（締付けトルク＜ 3.5Nm）

プロファイル形状スケール

機械／装置に「プロファイル形状スケール」を設置する際には、以下の点に注意してください。

- スケールは、機械／装置の平らな面に、付属品として供給される「クランプセット（取付クランプと六角穴付きボルト M5x22) で固定してください。
- 取付クランプは、等間隔に位置させてください。
- スケールの取付方向に関して規制はありません。

クランプセットは、スケールのストローク長に応じて下記の数が添付されます。

ストローク長	クランプセットの数（2 組で 1 セット）
250mm まで	1
251...750mm	2
751...1250mm	3
1251...1750mm	4
1751...2250mm	5
2251...2750mm	6
2751...3250mm	7
3251mm 以上	8

クランプセット　型番：110404